



常澄中学校だより

「常に澄む」

令和7年9月12日

No. 7

「常に正しかれ」「常に豊かなれ」「常に気高かれ」

新人戦、結果を求めること以上に多くのことを学んで欲しい！

9月16日（火）からの新人戦に向けて、9日（火）に激励会が開かれました。各部から目標が発表され、いよいよ始まるというワクワク感が伝わってきました。後援会の清水会長から励ましの



言葉をいただいたり、3年生からも、有志による応援団からエールをもらったり、新チームの活躍をみんなが期待しています。先輩にバトンを渡されてから取り組んできたことが、どれだけ試合の中で実現できるかが大切です。その結果が「勝利」という形になれば最高ですが、なかなか思い通りにはならないのが試合です。どんな状況でも自分たちがやってきたことが発揮できる、そんな姿を期待しています。

また、校長の話の一つとして、「他校の生徒の立ち居振る舞いを見て学んできてほしい」ということを伝えました。「強い」と言われるチームの多くは、プレー以外の行動にも気を遣うことができているからです。技術力の向上だけでなく、気持ちの面も大きく成長する機会としてほしいと思っています。



<これぞ部活動で大切なところ>

新人戦に向けての激励会が始まる前の一コマです。激励会を楽しみに、保護者の方も見学に来てくださいました。先生がキャプテンに声をかけると、バレー部全員が見学に来ていた保護者のために、椅子を用意してくれました。私も部活動では女子バレーボール部を担当しており、生徒には「バレー部員は学校の中心で活躍できる人になれ」と言ってきました。それは、「周りに気を配ることができる人になれ」という意味でもありま



した。バレーボールはルールにより、連続してボールに触れることはできず、誰かに必ず頼らなければなりません。そんな時、次にボールを触る人が操作しやすい易しい球を相手に渡せる気遣いが必要なのです。チーム競技はどの種目も同じだと思いますが、チームで支え合えることが大切です。まさに、そんなチーム作りに必要な思いを、バレー部から感じました。とても温かな気持ちになりました。